

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日:令和2年2月26日

事業所名:伊川谷音楽堂

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に応じたスペース確保はできている。	はい…13 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…2	つねに整理整頓に心掛け、その実情が保護者の方に、事業所での個別面談時活用して、内覧頂けるよう留意します。
	2 職員の適切な配置	基準に適した人員配置はできている。	①どのような専門知識をお持ちかどうかは職員のお一人お一人に尋ねていないので判りません。②女性の先生に常時いてほしいです。…11 どちらともいえない…2 いえ…1 分からない…3	個別対応等が必要な場合は増員しております。特に増員が必要とされる児童の保護者との連携を密にとり、男性、女性職員がどのように支援配置されているか面談時等に伝達致します。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	トイレ・洗面等のわかりやすい配置はできている。 2面の部屋に対しての段差はない。全体的なバリアフリーは構造上の問題で難しいが、必要に応じて行っていきたい。	はい…14 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…1	車いす等のバリアフリーには対応できているが、車椅子をトイレに入れるスペースはない。 改善は難しい。職員が安全に対応をしていく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の掃除で清潔を保っている。テーブル等の除菌も行っている。空気清浄機の設置もしている。	はい…15 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…0	環境を整える事そのものを療育活動と捉え、利用児童とも話し合いながらより快適に過ごせるにはどうすれば良いか共に考える事を大切にしていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的なミーティングを行っている。 日々の申し送り等も行っている。		日々のミーティングでの進捗確認を基本に、発言のしやすい風通しの良さに配慮し、より合理的な業務の実践が可能となるよう進めて行きます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	他施設の方の見学等で意見をもらい、業務改善すべき点は改善している。		外部評価の活用も検討し、客観視できるよう、留意していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	外部研修へ積極的に参加している。終了後は、他の職員等にも内容を共有するようにしている。		それぞれの職員の特性、専門性にも合わせた研修を検討し、実践していきます。

適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	保護者の意見を聞き取りアセスメントシートの作成を行っている。それを基本とした計画書の作成をしている。		今後も引き続き、具体的に子どもと保護者のニーズを客観的に分析した上で作成するようになっています。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の記録としてケース記録を作成している。6か月ごとにモニタリングを行い、計画書の見直し・作成を行っている。	はい…45 どちらともいえない…5 いいえ…0 分からない…1	個別活動の内容、集団活動の内容等、客観的にわかりやすく明記していきます。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	療育・音楽・製作の取り組みの支援内容を記載をし、計画書の作成をしている。		実際の利用回数、内容も加味しつつ、個々に合った目標を立て支援していきます。
適切な支援の提供	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った支援を実施している。	①クッキングやお祭り、お出掛け等、いつも楽しいイベントを考えてくださって、ありがとうございます。はい…14 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…1	個別支援計画に基づき、個々に合った必要とされる支援を立て、PDCAサイクルの元、実施していきます。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	全職員で予定の立案や計画プランの作成を行っている。		連絡帳等でさらに詳しく一日の療育活動の予定・結果がわかるよう、工夫し改善して行きます。また、音楽堂内他利用事業所との連携も密にとり、より効果的な療育方法の開発にも取り組んで参ります。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休日や土曜日は、平日では取り組めないお出かけやランチクッキング等を取り入れて実施している。	はい…6 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…9	長期時間滞在時の療育活動プログラムを職員間で共有し、画一的な事の繰り返しにならないように工夫し、よりその児童にとってふさわしいものとなる様に支援しています。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	平日の活動でおやつクッキングを取り入れる、曜日よっての音楽内容の変更等、毎日の活動が固定しないよう工夫実施している。		日々の療育活動プログラムを職員間で共有し、画一的な事の繰り返しにならないように工夫し、よりその児童にとってふさわしいものとなる様に支援しています。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	児童が来所するまでに、その日の担当児童・療育内容を職員間で確認している。		当日の利用児童の予定を明確にし、どの職員が見てもすぐに児童毎に必要な支援に対しての準備物等、分かるよう掲示し活動に臨めるように目視管理を徹底して参ります。

祝 き)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	ケース記録の毎日の確認を徹底している。児童の変化や様子をケース記録へ記入し、職員がいつでも見れるようにしている。		ケース記録等で残す、管理者への報告等で、問題があればすぐに職員間の共有は出来ているので、引き続き継続して参ります。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	グループライン等で情報の共有化をしている。業務日報にて記録もしている。		全事業所が共有して見られるケース記録システム等、ITを活用して情報を入力し、音楽堂内併用先事業所間でも、リアルタイムに他事業所での様子等が把握できるネットワーク構築がなされている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6か月ごとのモニタリングを行い、計画書の見直しをし本計画へと繋げている。		年2回(6ヶ月に1度)を基本に、モニタリング・個別支援計画書の作成を行い、支援の見直しを実施し、また、その進捗を全事業所間で共有管理しています。
関 係 機 関 と の 連 携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援事業所から連絡があればサービス担当者会議への参加は行っている。		普段から関わりの深い職員に必ず出席してもらい、親御さんに施設利用時の様子をお伝えしています。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当する児童がいない。		該当する児童がいません。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当する児童がいない。		該当する児童がいません。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	児童の担任の先生からの要望があれば、見学訪問の受け入れをしている。何か問題が起きれば学校の先生方と連携をとっている。		必要に応じて、ご家族・学校・当施設で連携を取り、支援内容の共有をしながらより充実した支援が可能となる様留意します。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	親御さんからの要望があった際は、情報の提供を行っている。		担当者会議への依頼があれば出席し、情報共有を行っています。

	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要な児童には連携を行っている。研修の参加もしている。		研修に積極的に参加し、研修資料は他の職員と共有している。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	今現在はありません。		年に1度、神戸市西区社会福祉協議会主催の福祉フェアイベントに参加していますが他地域のイベントにも参加を検討します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	クリスマスのコンサートや、ボランティアの方に第三土曜日をお願いをし、児童の為に来所していただいている。		児童、保護者、来場者と一体になって歌って演奏をするコンサートを目指して企画します。大きな発表の場として、夏季のジェンベ大会、冬季のクリスマスコンサートが現在定期公演として浸透しつつあります。
保護者への説明責	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時に支援内容を説明している。利用者負担金は書面でお渡ししている。	はい…16 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…0	契約時に児童発達支援管理者が書面にて説明を行っている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	基本的に、六か月に一度、行っている。	①お時間とって詳しく説明していただきました。日頃の様子もよく分かり適正に沿った対応をして下さっていることがよく分かりました。 はい…17 どちらともいえない…0 いいえ…0 分からない…0	6か月ごとにモニタリングを行う際に、親御さんとの面談を取り入れ、デイと家庭の様子を比較検討する等、共有情報を増やすことで、よりクライアントへの効果的な支援へと繋げてゆけるように改善した。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない。	①あれば受けたいです。 はい…5 どちらともいえない…5 いいえ…0 分からない…6	はい 保護者が事業所での様子を見てもらえる機会を設けることを検討します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳等で、来所時の様子をお伝えしている。問題がある場合は、ご自宅へ連絡し、ご家族に相談している。	①ノートやお電話で様子がよく分かりますし、細かい内容に本人の特性をよく見てくださっていると感ずることがよくあります。こちらの疑問にも、すぐお答えくださり安心です。 はい…17 どちらともいえない…0 いいえ…0 分からない…0	送迎時に普段の様子をお伝える、問題があれば直接児童発達支援管理者や療育主任がご自宅へ電話連絡をし、保護者様との情報共有をしています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	必要に応じて随時面談や電話等で相談を受けている。学校との連携をとる場合もある。	はい…10 どちらともいえない…0 いいえ…0 分からない…2	必要に応じて時間をとり面談し支援しています。

連携支援	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	保護者会等は、行っていない。	①父母の会などは中々忙しくて難しいと思います。 はい…3 どちらともいえない…6 いいえ…3 分からない…5	保護者会の開催について検討いたします。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情相談窓口の明記している。直接、苦情があった際は、迅速な対応を心掛けている。	①今までに苦情などについては、あまり聞いたことがないので判らない。 はい…11 どちらともいえない…3 いいえ…0 分からない…3	契約時に苦情窓口の説明をし、苦情等が当施設へ直接連絡があれば、速やかに対応しています。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々にあったコミュニケーションで意思の疎通を行って、実施している。	はい…14 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…1	視覚支援等の対応で、他者に伝える事が苦手な児童の支援を行っています。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	書面で配布をしたり、ホームページで行事予定を更新している。連絡帳にも必要に応じて記載している。	①ホームページは子供も更新を楽しみにしています。 はい…13 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…3	ホームページの定期更新(ブログ等)や、より詳細が伝わる様、書面案内も活用してお知らせします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報のファイル資料は、鍵付きロッカーにて保管している。	はい…15 どちらともいえない…3 いいえ…0 分からない…1	個人ファイルは鍵の掛かる棚に保管し、管理業務に携わる職員以外の他者が見れないようにしています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアル作成し、緊急時の対策に取り組んでいます。	はい…7 どちらともいえない…3 いいえ…1 分からない…9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底事項を早急に作成いたします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2回、避難訓練を実施している。	はい…5 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…10	年2回、必ず児童と職員で避難訓練(地震・火事)実施し緊急時の避難の大切さを説明しています。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	年1回、職員研修を実施している。		年1回必ず当施設内で虐待防止研修を行い、虐待への取り組みと職員間での意見を共有し適切な対応について話し合いを行っています。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	今まで該当なし。		事例がありません。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	親御さんから面談時にアレルギーの有無は確認している。医師の指示所があるほどの該当者はいない。		今まで事例がありませんが、今後食物アレルギーの児童が来所される事がありましたら、速やかにご家族・医師の指示の元、対応していきます。

	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	職員間で情報の共有をし防止策の検討を行っている。		ヒヤリハットは全事業所共有し、次に同じことが起こらないように再発防止に努めています。
満足度	1	子供は通所を楽しみにしているか	親御さんからは楽しんで通所しているという声がある。 子供達が楽しく通所できるように、色んな企画を考えて取り組んでいる。	はい…15 どちらともいえない…2 いいえ…0 分からない…0	通所が楽しいものである事を大前提に、その「楽しみ、喜び、遊び」の中で、社会生活に置いて必要なスキルを自然と感じ、学んで頂ける様に、音楽演奏や鑑賞活動を通じて支援を継続して参ります。また、その支援内容はPDCAサイクルによって随時その有用性を確認し、職員間情報、手法共有にも努めて参ります。
	2	事業所の支援に満足しているか	満足しておられる親御さんやそうではない親御さんもおられると思います。	はい…16 どちらともいえない…1 いいえ…0 分からない…0	通所される利用者並びにそのご家族が一人でも多く支援、サービス内容に満足して頂けるよう、適時、客観的な評価を活用しつつ、取り組んで参ります。